

当院では、2005年より院内に栄養サポートチーム(NST)を立ち上げ、多職種で入院患者の栄養状態を支えようと活動してきました。栄養サポートとは、栄養素を個々の病状に合わせ、個々に合わせた投与方法で、過不足なく適切に補給することです。そして、病気の治癒、患者のケアに役立て、患者・家族・医療スタッフを支えることです。

また、栄養補給の一つとして胃瘻造設にも取り組んできました。2020年から3年間で、胃瘻造設目的で紹介された患者112名の内31名(27%)は栄養状態や嚥下状態が悪く胃瘻造設を行うことができませんでした。栄養管理は病院だけでできるものではありません。病院・施設・在宅との連携の中での栄養サポートが必須です。胃瘻造設困難であったケースを取り上げ、栄養必要量の基本について共有していきたいと思えます。

総合病院岡山協立病院 第13回 地域医療連携セミナー

気付こう！

参加費  
無料

みんなで築こう！

「食べる」を支えるセーフティネット

～胃瘻造設困難ケースより学ぶ栄養必要量の基本～

日程

令和5年 **7月13日**(木)

※オンライン限定のセミナーです。

18:30 開始 (ZOOM使用)

19:30 終了予定



講師

総合病院岡山協立病院  
消化器内科 臨床研究部 部長  
NST(栄養サポートチーム)委員長  
板野 靖雄

配信

ZOOM(Web会議システム)使用  
ミーティングIDはお申し込み時にご記入いただいたメールアドレスまたはFAX番号に送付致します。

申込

右記QRコード又は裏面申込用紙からお申し込みください。  
7月5日(水)17時迄

お申込み用QR

